



実践型カリキュラムによる職業人育成事業

～産学連携を中心とした実践型カリキュラム開発による地域産業界を支える技術者育成プログラム～

新潟県内で4大学。私立大学単独ではただ1校の採択。

I. 新潟工科大学が目指す教育について



● **実践型カリキュラムの受講**
(体系的な専門教育・教養教育・キャリア教育)

● **NIIT人間力の獲得**
(挑戦力・創造力・コミュニケーション力)

● **早めの内定**
第一希望企業への就職

● **企業で大活躍**
産業界・社会への貢献



I-1. 建学の精神 (本学の教育方針)

ものづくりの視点を重視した工学教育を通じて、未知の分野に果敢に挑戦する創造性豊かな人材を育成する。

I-2. 実践型カリキュラム

学生が社会人として実践的に活躍するためのスキルを身に付けられるカリキュラムのことを指しています。企業の実務家と産学連携してカリキュラム開発を行っており、建学の精神に則った教育を行います。

I-3. 実践型カリキュラムのねらいと内容

●がある科目は、必修科目です。

	1年次	2年次	3年次	4年次
年次目標	学生自身が将来の目標を描き、卒業後の進路や職業を模索し考える	自分を見つめ、将来の希望進路に向けて準備を始める	自己分析から希望業界の研究へと自らの希望進路を固める	実践の時期
科目群	自らの生き方について展望を持ち、社会的に求められる能力を習得する科目	●自らのキャリアデザイン ●コミュニケーション・スキル	プレゼンテーション実習 自己分析実習 ビジネス実務	卒業研究
	挑戦的・創造的な課題の解決に取り組む科目	●新入生のための少人数による導入教育科目 企業人によるワークショップ PBL (Project Based Learning ; 課題解決型学習)	インターンシップ	●卒業研究
	業界・企業への理解を深める科目		業界研究	●企業人講演

I-4. NIIT人間力 (本学の育成する力)

3つのNIIT人間力、9つの定義で構成される力のことで、学生に、この力を数値化して示すことで、秀でた能力、不足している能力を把握することができるようにしています。

NIIT人間力	NIIT人間力 定義
挑戦力	高い目標に向かってチャレンジする行動力 失敗を恐れず、トライ＆エラーの積み重ねと努力の精神
創造力	既成概念にとらわれない発想 課題を発見し、新しい解決方法を考える力
コミュニケーション力	傾聴力 (相手の話を聞くことができる)
	理解判断力 (相手の話を理解し、判断できる)
	情報活用能力 (パソコンやインターネットを活用することができる)
	説得力 (説明スキルと知識をもつこと)
	トータルコミュニケーション力 (読み、書き、対話すること)

II. 実践型科目の取り組み

II-1. 企業と連携し、実学教育を促進

- ・上場企業の元・人事担当者を特任教授として採用。
- ・ものづくり企業と本学が連携してカリキュラム開発。
- ・現場の課題を実習に導入。

II-2. 社会人としての教養・基盤を習得

- ・1年次からキャリア形成に関する科目の開講を実施。
- ・2年次に業界研究、3年次に企業人講演を実施。

III. PBL (Project Based Learning; 課題解決型学習) を実施し、NIIT人間力を育成

いろいろな課題に対して学生がチームを組んで、主体的・実践的に課題解決に取り組むことで、さまざまな解決方法・技法・プレゼンテーション能力等を学習します。チームを組むことで、個人で結果を出すよりも、チームとして結果を出すことの重要性を理解してもらい、実際に企業人となったときに、力を出せるようになることを目指します。

平成23年度は、8つの取り組みを行っています。

【平成22年度実績】

【海浜清掃ロボット開発】



学生自ら部品検討



プロトタイプ作成



装置完成

【雪中貯蔵商品の企画立案】



既存商品の見学



雪室への搬入作業



検討中のデザイン案

IV. 企業人講演 (必修科目)

産業界で活躍する各企業の責任者から、創業から発展に至る経緯、企業の社会的役割、技術的な特色等について講演を聞き、勉学の意欲を高めると共に、折に触れ人生観や経営哲学を学びます。

【平成23年度 演題】

(全8回)

会社名
演題
日刊工業新聞
「新潟工科大学の建設にかけた新潟県経営者の熱い思い」
株式会社エーワン精密
「私は こんなことを考えながら強い町工場をつくりました」
株式会社新潟総合テレビ
「逆境を生かす」
北越工業株式会社
「製品設計の現場」
株式会社東芝
社内カンパニー (社会インフラシステム社)
「新型二次電池SCIBTMの紹介と将来展望」
東京電力株式会社
「エネルギーの確保」
「電源としての原子力」
株式会社コロナ
「コロナの人づくり、ものづくり」



【新潟工科大学卒業生の特長】

平成22年度企業満足度アンケート結果から抜粋

※過去4年間に新潟工科大学卒業生を採用した企業に対し実施 (回答166社、回答率35.7%)

- ・円滑なチームワークや健全な人間関係を築くことができる。
 - ・身だしなみや言葉遣いなど社会常識を身につけている。
 - ・仕事上の課題等に責任感、倫理感を持って取り組む姿勢を持っている。
- が、企業が重要と判断し、本学卒業生が身に付けている上位回答です。

V. インターンシップ

実社会で役立つ「実学」教育を行うため、主に夏期休業期間を利用して企業等で実習を行い実務を体験します。実習先で体験したことを、将来の職業選択や今後の学習を進めて行く上で役立てることを目的として行います。

受入企業側は、学生に企業・職場の実態 (広く社会に開かれた企業姿勢) を理解してもらうことができ、教育担当者は受入学生に仕事を教えることによってさまざまなノウハウを取得でき、職場は刺激を受け活性化につながります。

【平成23年度実績】

インターンシップ受入先企業：75社
参加学生：99名 (参加率：49.3%)



【実習生のコメント】

- ・実習中に指導員の方も悩んだ問題を自力で切り抜けた。
- ・作業説明の際指導してくださっている方が何を期待しているのかを考えながら話を聞いた。
- ・一度やり出したことは終業した後も残って、それが終わるまでやり続けた。

VI. 学内企業実習

通常のインターンシップとは異なり、企業から講師を大学に派遣して頂きます。学生は1日社員となり、企業から与えられた課題をグループワークで解決します。

平成23年度は、試行として参加企業3社で実施しました。

【新潟総合警備保障株式会社】

テーマ：

「セキュリティ業界の宣伝について」

費用対効果が高い、1人暮らしの女性向けのチラシを作成しました。



【株式会社阿部建設】

テーマ：

「メディア戦略の立案について」

「L'ecrin(レカン)」というブランドの家を売ることを目的として、情報誌、CM、インターネット、広告でL'ecrinの特色をアピールする方法を提案しました。



【佐藤食品工業株式会社】

テーマ：

「新しいニーズの包装餅について」

新しい包装でお客様に振り向いてもらう・買ってもらうためにはどうしたら良いかを目的に、パッケージの付加価値を検討しました。



実践型カリキュラムでは、企業と連携した実学教育を促進しています。企業の現場の課題を取り入れた生きた教育を目指していますので、当取り組みへのご参加・ご助力をお願いします。

お問合せ先： キャリア・産学交流推進課

career-sangaku@adm.niit.ac.jp